

## はじめに

「AWS 認定ビッグデータ - 専門知識」(BDS-C00) 試験は、複雑なビッグデータ分析を実行する人を対象としており、AWS サービスを設計および実装してデータから価値を引き出す技術スキルと経験を評価するものです。

この試験で評価する能力は次のとおりです。

- アーキテクチャの基本的なベストプラクティスに従って、コアとなる AWS ビッグデータサービスを実装する。
- ビッグデータを設計および保守する。
- ツールを活用してデータ分析を自動化する。

### 推奨される AWS の知識

- AWS テクノロジーの使用に関する 2 年以上の経験。
- AWS セキュリティのベストプラクティス。
- AWS のアーキテクチャとサービスについて、およびこれらの相互関係についての理解。
- AWS のビッグデータ関連サービスを定義して設計する能力、およびこれらのサービスがデータのライフサイクル（収集、取得、格納、処理、および可視化）にどのように関係しているかを説明する能力。

### 推奨される一般的な IT の知識

- データ分析に関する 5 年以上の経験。
- アクセスを制御してデータをセキュア化する方法についての理解。
- 大規模分散システム（例：Hadoop/Spark、MPP データウェアハウス）の土台となるフレームワークについての理解。
- 多様なデータソースから取得したデータを異なる頻度（バッチ/リアルタイム）で処理できるようにするための、ツールと設計プラットフォームについての理解。
- 拡張性と費用対効果の高いデータ処理アーキテクチャを設計する能力。

## 試験準備

本試験の準備に役立つトレーニングコースと資料は次のとおりです。

### AWS に関するトレーニング ([aws.amazon.com/training](https://aws.amazon.com/training))

- ビッグデータ技術の基礎  
<https://aws.amazon.com/training/course-descriptions/bigdata-fundamentals/>
- AWS 上のビッグデータ  
<https://aws.amazon.com/training/course-descriptions/bigdata/>

### AWS に関するホワイトペーパー ([aws.amazon.com/whitepapers](https://aws.amazon.com/whitepapers)) Kindle 版および PDF 版

- AWS クラウドコンピューティングに関するホワイトペーパー ([aws.amazon.com/whitepapers](https://aws.amazon.com/whitepapers))、特に [データベース](#) および [分析](#)
- AWS ドキュメント ([aws.amazon.com/documentation](https://aws.amazon.com/documentation))

## 試験内容

### 回答タイプ

試験の質問には以下の 2 種類があります。

- **択一選択問題**: 選択肢には 1 つの正解と 3 つまたは 4 つの不正解（誤答）があります。
- **複数選択問題**: 5 つ以上の選択肢の中に 2 つ以上の正解があります。

文章に最もよく当てはまるもの、または質問の回答となるものを 1 つ以上選択します。不正解の選択肢は、知識やスキルが不十分な受験者が間違えやすいもので構成されています。多くの場合、試験の目的に応じた出題分野に当てはまる、もっともらしい回答になっています。

回答しなかった場合は不正解とされるため、推測でも答える方が有利です。

### 採点対象外の内容

試験には、採点の対象にはならない項目が含まれる場合があります。これは統計的な情報を集めるために試験に組み込まれています。フォーム上でこれらの項目を区別することはできませんが、スコアに影響を与えることもありません。

### 試験の結果

「AWS 認定ビッグデータ - 専門知識」(BDS-C00) 試験の結果は、合格または不合格のいずれかになります。試験は、認定業界のベストプラクティスとガイドラインに従って、AWS プロフェッショナルにより設定された最低基準に達しているかどうかに応じて採点されます。

スコアレポートには各セクションレベルでの成績の等級表が掲載されています。この情報は、試験成績に関する全体的なフィードバックを提供することを目的として設計されています。試験では補填形式のスコアモデルが使用されるため、個別のセクションごとに「合格」する必要はなく、試験全体で合格することのみが求められます。試験の各セクションには特定の重み付けがされているため、一部のセクションでは質問数が他のセクションよりも多くなっています。表には、長所と弱点を示す総合的な情報が含まれています。セクションレベルのフィードバックは慎重に解釈するようにしてください。

### 試験内容の概要

この試験ガイドには、比重、出題分野、および試験の目的のみが記載されています。試験の出題内容全体を記載しているわけではありません。出題分野と比重を以下の表に示します。

分野	試験における比重
分野 1: 収集	17%
分野 2: 格納	17%
分野 3: 処理	17%
分野 4: 分析	17%
分野 5: 可視化	12%
分野 6: データセキュリティ	20%
合計	100%

### 分野 1: 収集

- 1.1 収集システムの運用特性を決める。
- 1.2 データ変更の頻度および取得されるデータタイプに対応できる、収集システムを選択する。
- 1.3 収集システムによって適用される必要のあるプロパティ（例：順序、データ構造、メタデータ）を明確化する。
- 1.4 収集方法に関する持続性および可用性を明確化する。

## 分野 2: 格納

- 2.1 格納ソリューションの運用特性を決め、最適化する。
- 2.2 データアクセスパターンおよびデータ取得パターンを決める。
- 2.3 カタログエントリのキャプチャ、更新、および取得に関する仕組みを評価する。
- 2.4 適切なデータ構造および格納形式を決める。

## 分野 3: 処理

- 3.1 特定のシナリオに対する適切なデータ処理技術を明確化する。
- 3.2 データ処理ソリューションを設計および構築する方法を決める。
- 3.3 実装されるソリューションの運用特性を決める。

## 分野 4: 分析

- 4.1 分析に必要なツールと手法を決める。
- 4.2 分析ソリューションを設計および構築する方法を決める。
- 4.3 分析の運用特性を決め、最適化する。

## 分野 5: 可視化

- 5.1 結果/出力を配信するための適切な手法を決める。
- 5.2 可視化プラットフォームを設計および構築する方法を決める。
- 5.3 可視化ソリューションの運用特性を決め、最適化する。

## 分野 6: データセキュリティ

- 6.1 暗号化要件または暗号化実装技術（あるいはその両方）を決める。
- 6.2 データガバナンスを適用するための技術を選択する。
- 6.3 データの整合性を確保する方法を明確化する。
- 6.4 規制要件を評価する。